

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	社会と象徴体系		
英文授業科目名	Society and Symbolic System		
開講年度	2005年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	南里 浩子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>このセミナーは、文化人類学を受講し興味をもった学生に、その応用編として具体的な対象、テーマでさらに関心を深め勉強していくという目的をもっている。今期のテーマは、文化人類学のフィールドワークについてとり上げる予定である。現在、私はイランの農村でのフィールドワークを進めている。現地があまりに遠いので一緒に出かけるということは出来ないが、同村を1960年代、70年代、80年代と継続調査を行った大野盛雄氏の民族誌『イラン農民25年のドラマ』を読みながら、また私自身が行っているフィールドワークの体験を交えながら、フィールドワークという調査技法について、またそれがもっている問題性などについて考えていきたい。できれば、自分で何らかのフィールドワークを行って情報を集めレポートを書いてみるということにも挑戦していただきたい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
文化人類学AもしくはB

【教科書等】
教科書：大野盛雄「イラン農民25年のドラマ」（NHKブックス）
参考書：佐藤郁哉「フィールドワークの技法」（新曜社）

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎回、民族誌「イラン農民25年のドラマ」を読み進めていきながら、読んだ内容について短いレポート提出をお願いします。また、最後にフィールドワーク実習レポートを提出すること。単位取得の基準は、(1)すべてのレポートが受理されていること。(2)実習レポートを提出すること (3)出席日数が3分の2以上であること。

【オフィスアワー：授業相談】

授業時間の後。

【学生へのメッセージ】

少人数のゼミであることを生かして、それぞれが主体的に授業に関わることが望ましい。専門ではない人文社会科学という分野において、じっくり本を読み、考え、文章を書いてみて欲しい。

【その他】